

2016年3月期 第3四半期決算説明会



カーオブザイヤー受賞



2015-2016

日本カー・オブ・ザ・イヤー
スモールモビリティ部門受賞

日本カーオブザイヤー実行委員会

ALTO
TURBO RS



ALTO



Lapin



AUTO COLOR AWARDS 2015-2016

スズキ株式会社

2016.2.8

●四輪世界販売 … 2,122千台で過去最高※1

- ・日本、中国、インドネシアで減少したものの、インド（972千台、前年比+13.9%）、パキスタン、欧州（新型ビターラ）等で増加

●二輪世界販売 … 1,145千台、前年比▲202千台

- ・欧州で増加したものの、インドネシア、中国等で減少

●第3四半期実績 … 増収増益、各利益過去最高※1

- ・売上高 2兆3,556億円、前年比+ 9.9%、4期連続増収
- ・営業利益 1,462億円、前年比+ 8.2%、 // 増益
- ・経常利益 1,628億円、前年比+12.7%、 // 増益
- ・四半期純利益※2 1,023億円、前年比+28.0%

●通期業績予想 … 増収増益

- ・当期純利益※2のみ50億円下方修正
- ・法人税率引下げに伴う繰延税金資産取崩を反映

・増収増益、各利益過去最高

(億円)

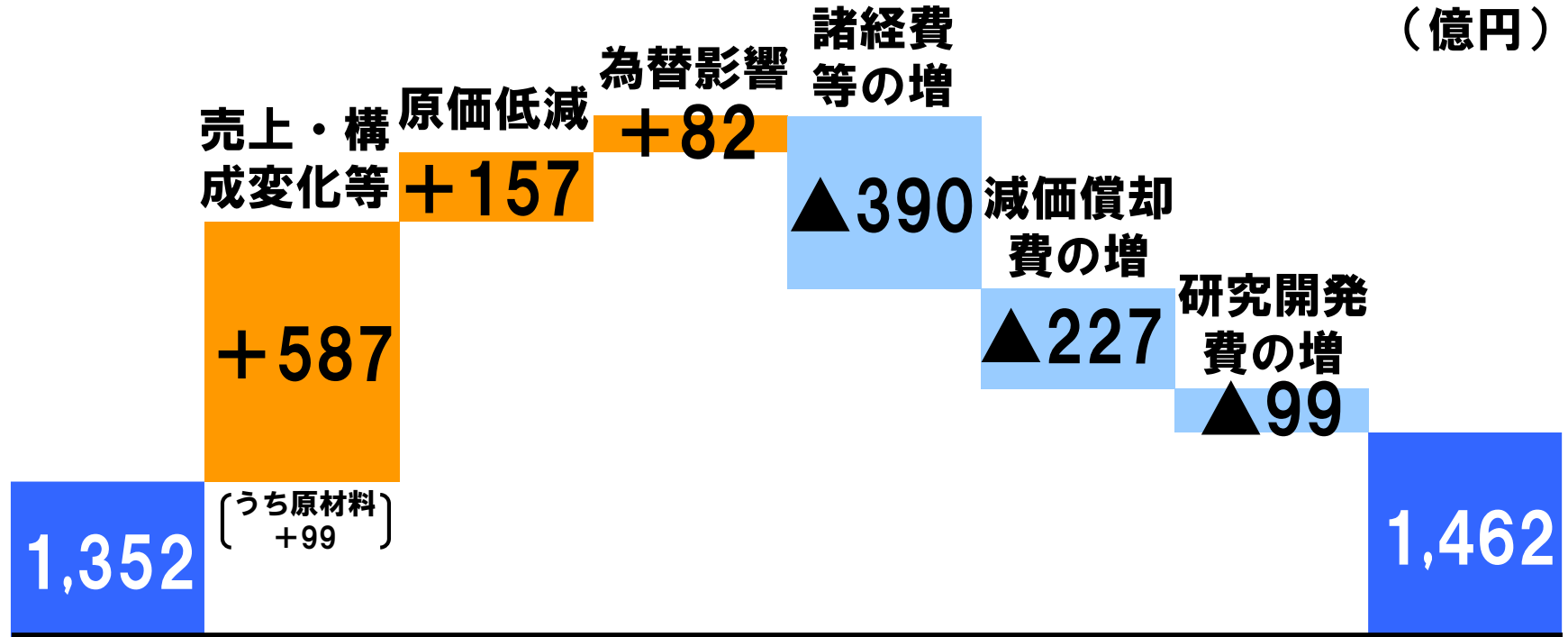
	当第3四半期 (’15/4-12)	前年同期 (’14/4-12)	増 減	
			増 減	増減率
売上高	23,556	21,430	+2,126	+9.9%
国内売上	7,535	7,738	▲203	▲2.6%
自 社	6,770	6,722	+48	+0.7%
OEM	765	1,016	▲251	▲24.7%
海外売上	16,021	13,692	+2,329	+17.0%
営業利益 (利益率)	1,462 (6.2%)	1,352 (6.3%)	+110	+8.2%
経常利益 (利益率)	1,628 (6.9%)	1,444 (6.7%)	+184	+12.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	1,023 (4.3%)	799 (3.7%)	+224	+28.0%

(億円)

	二輪			四輪			特機等			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	160	159	+1	7,255	7,432	▲177	120	147	▲27	7,535	7,738	▲203	
自社	160	159	+1	6,490	6,416	+74	120	147	▲27	6,770	6,722	+48	
OEM				765	1,016	▲251				765	1,016	▲251	
海外計	1,569	1,640	▲71	14,052	11,738	+2,314	400	314	+86	16,021	13,692	+2,329	+563
欧州	312	288	+24	2,517	2,230	+287	111	105	+6	2,940	2,623	+317	▲139
北米	245	284	▲39	34	38	▲4	181	123	+58	460	445	+15	+50
アジア	689	752	▲63	9,826	7,929	+1,897	34	29	+5	10,549	8,710	+1,839	+696
その他	323	316	+7	1,675	1,541	+134	74	57	+17	2,072	1,914	+158	▲44
総合計	1,729	1,799	▲70	21,307	19,170	+2,137	520	461	+59	23,556	21,430	+2,126	+563
内、為替 換算影響			+29			+512			+22			+563	

※当期・・・2015年4～12月期、前期・・・2014年4～12月期

(億円)



前年同期
営業利益

当第3四半期
営業利益

増益要因 +826

減益要因 ▲716

営業利益 +110

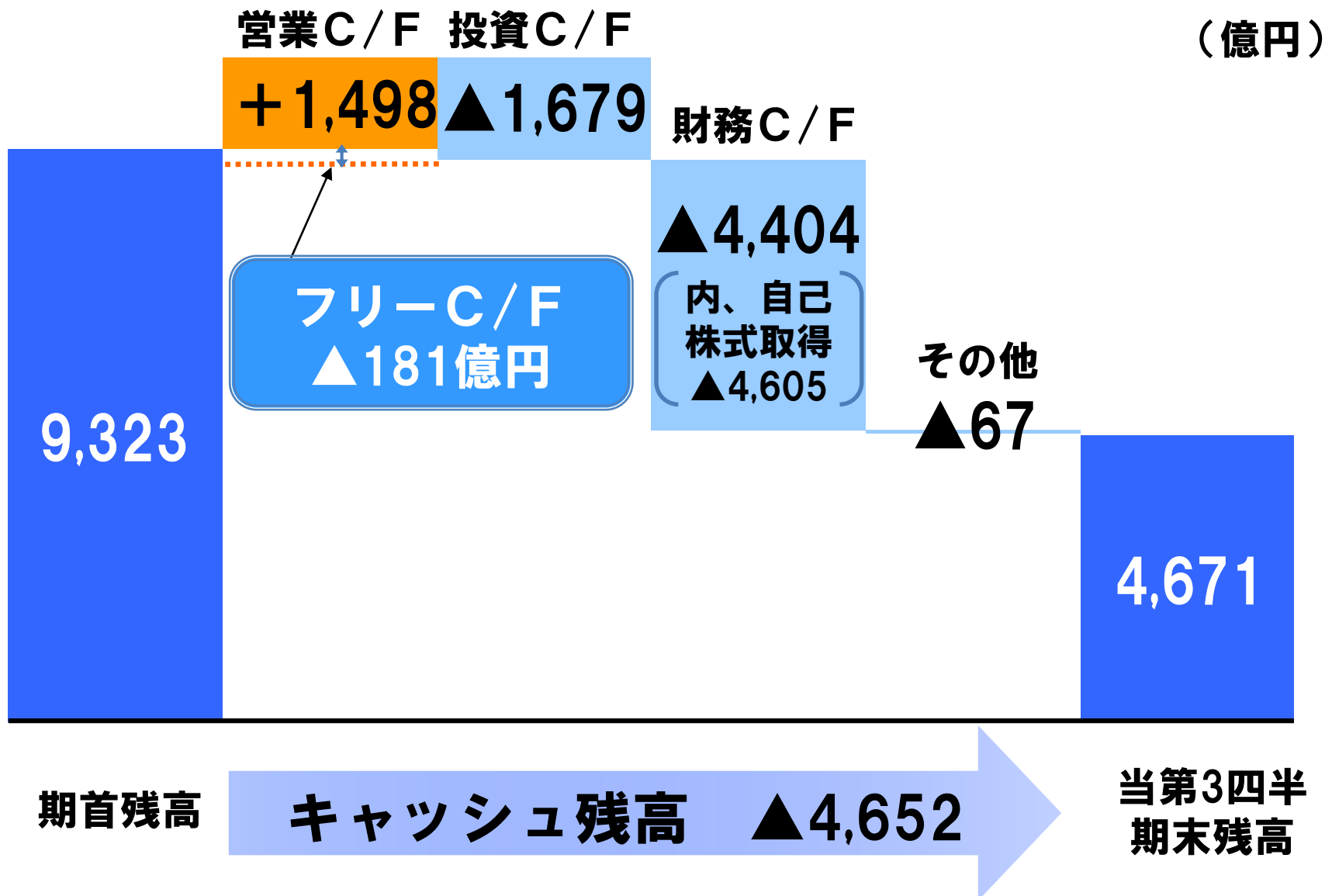
	当第3四半期 (’15/4-12)	前年同期 (’14/4-12)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	122円	107円	+15円	+42億円
ユーロ	134円	140円	▲6円	▲45億円
インドルピー	1.90円	1.77円	+0.13円	+92億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.90円	0.90円	±0円	±0億円
タイバーツ	3.51円	3.29円	+0.22円	▲15億円
その他	—	—	—	+8億円
計				+82億円

連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第3四半期 ('15/4-12)	前年同期 ('14/4-12)	増 減
(当社単独)	448	338	+110
(子会社)	712	986	▲274
設備投資	1,160	1,324	▲164
減価償却費	1,193	966	+227
研究開発費	962	863	+99

	当第3四半期末	前年同期末		前期末	
	('15/12末)	('14/12末)	増 減	('15/3末)	増 減
有利子負債残高	5,900	4,825	+1,075	5,547	+353



連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

《二輪》

売上高

前年同期

当第3四半期

売上高
▲70 (▲3.9%)

1,799 1,729

営業利益
▲51 (赤字拡大)

▲50 ▲101

前年同期 当第3四半期
'14/4-12 '15/4-12

《四輪》 売上高

+2,137 (+11.1%)
21,307

19,170

営業利益
+127 (+9.5%)

1,337 1,464

前年同期 当第3四半期
'14/4-12 '15/4-12

《特機等》

売上高
+59 (+12.9%)

461 520

営業利益
+34 (+53.0%)

65 99

前年同期 当第3四半期
'14/4-12 '15/4-12

営業利益

前年同期

当第3四半期

連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高

前年同期

当第3四半期

三国間取引

《日本》

売上高

+678 (+5.4%)

12,586 13,264

(1,247)(2,377)(三国間取引)

11,338

10,886

三国間取引
を除く売上高

営業利益

▲347 (▲36.8%)

945 598

前年同期 当第3四半期
'14/4-12 '15/4-12

《欧州》

売上高

+1,029 (+33.9%)

4,063

3,034(1,611)(三国間取引)

(831)

2,203

営業利益
+87 (黒字化)

▲24 63

前年同期 当第3四半期
'14/4-12 '15/4-12

《アジア》

売上高

+1,987 (+21.3%)

11,310

9,323

営業利益

+399 (+94.3%)

424 823

前年同期 当第3四半期
'14/4-12 '15/4-12

《その他》

売上高

▲10 (▲0.8%)

1,133 1,123

営業利益

▲9 (▲47.9%)

20 11

前年同期 当第3四半期
'14/4-12 '15/4-12

営業利益

前年同期

当第3四半期

	当第3四半期末	前年同期末		前期末	
	('15/12末)	('14/12末)	増減	('15/3末)	増減
連結 子会社数	135社	131社	+4社	133社	+2社
持分法適用 関連会社数	34社	37社	▲3社	35社	▲1社
従業員数	58,390人	57,569人	+821人	57,409人	+981人

・ 11月4日公表から当期純利益※を50億円下方修正

(億円)

	今 回 通期予想	前期比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
売上高	31,000	30,155	+845	31,000	—
営業利益	1,950	1,794	+156	1,950	—
経常利益	2,050	1,943	+107	2,050	—
当期純利益※	1,200	969	+231	1,250	▲50
増減要因	売上・構成変化等	+376	▲181	+286	+90
	原価低減	+290	+272	+290	—
	減価償却費の増	▲260	▲172	▲260	—
	諸経費等の増	▲200	▲236	▲120	▲80
	研究開発費の増減	▲40	+12	▲40	—
	為替影響	▲10	+222	—	▲10
計	+156	▲83	+156	—	
設備投資	1,800	1,945	▲145	1,800	—
減価償却費	1,600	1,344	+256	1,600	—
研究開発費	1,300	1,259	+41	1,300	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

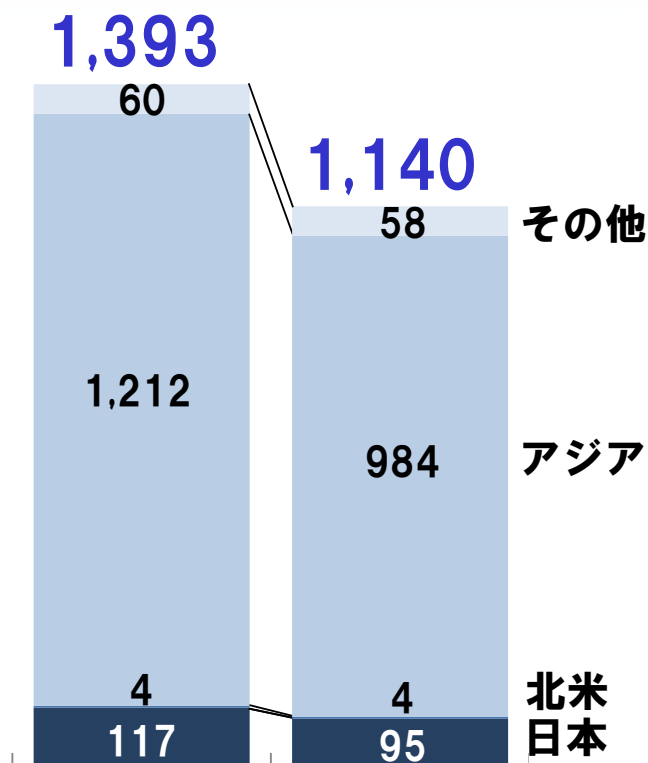
連結：通期業績予想 (為替レート前提)

	今回予想 (2015.4~2016.3)			為替影響	前期比較 (2014.4~2015.3)		前回予想比較 (2015.4~2016.3)	
	'15/4-12 実績	'16/1-3 予想	通期 予想		通期 実績	増減	通期 予想	増減
米ドル	122円	117円	121円	+41億円	110円	+11円	118円	+3円
ユーロ	134円	128円	133円	▲49億円	139円	▲6円	130円	+3円
インド ルピー	1.90円	1.75円	1.86円	+48億円	1.81円	+0.05円	1.88円	▲0.02円
インドネシア ルピア※	0.90円	0.85円	0.89円	▲5億円	0.91円	▲0.02円	0.90円	▲0.01円
タイ バーツ	3.51円	3.23円	3.44円	▲6億円	3.38円	+0.06円	3.53円	▲0.09円
その他通貨				▲39億円				
為替影響額 計				▲10億円	+0億円 ▲10億円			

※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

《4～12月比較》

▲253千台(▲18.1%)

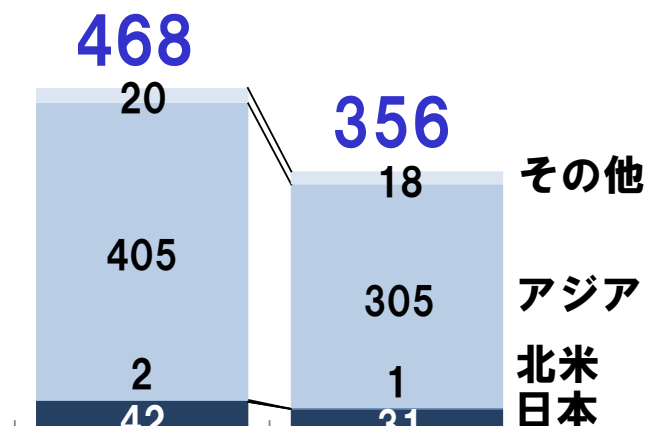


前年同期
'14/4-12

当第3四半期
'15/4-12

《内、10～12月比較》

▲112千台(▲23.9%)



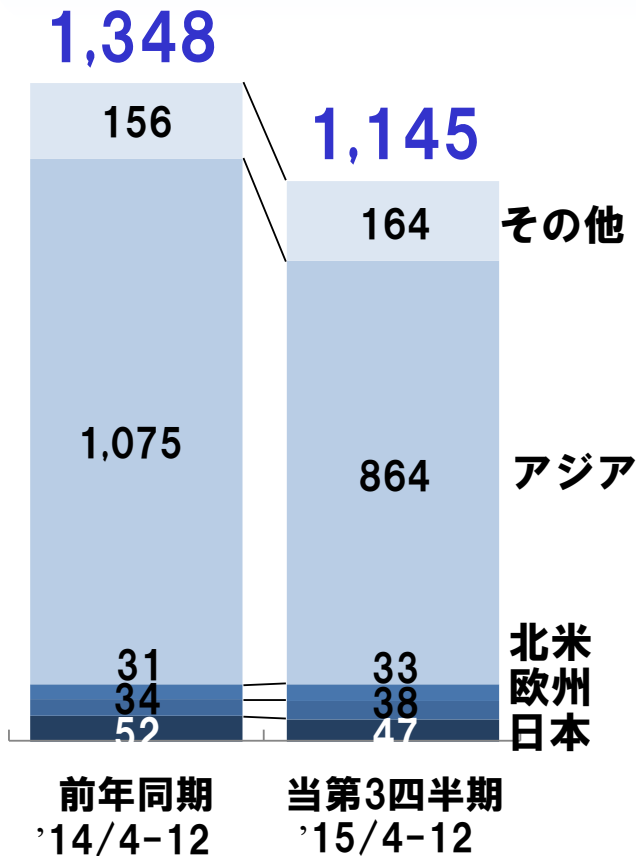
前年同期
'14/10-12

当第3四半期
'15/10-12

(千台)

《4~12月比較》

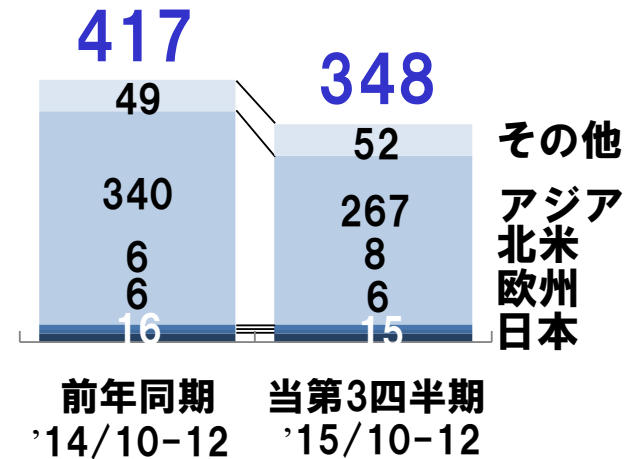
▲202千台(▲15.0%)



《内、10~12月比較》

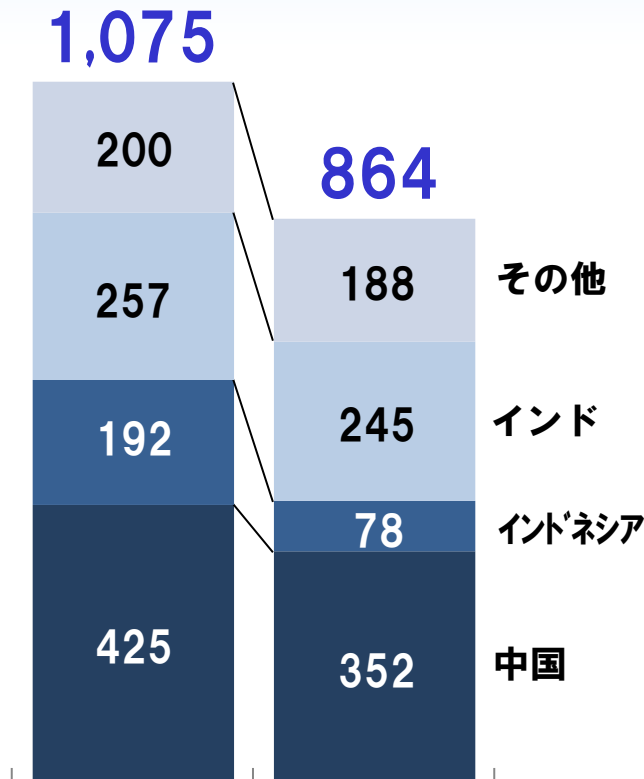
(千台)

▲69千台(▲16.6%)



《4～12月比較》

▲211千台（▲19.6%）

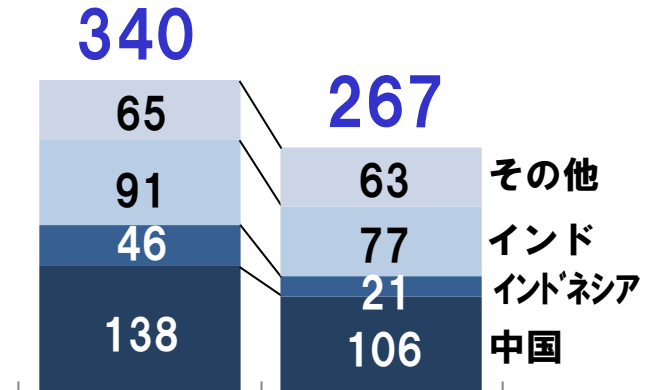


前年同期 '14/4-12
当第3四半期 '15/4-12

《内、10～12月比較》

（千台）

▲73千台（▲21.6%）

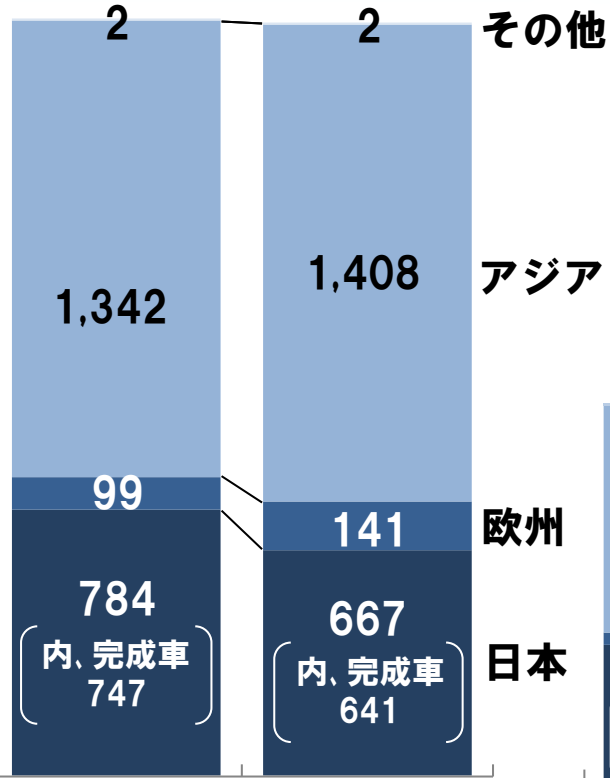


前年同期 '14/10-12
当第3四半期 '15/10-12

《4～12月比較》

▲9千台(▲0.4%)

2,227 2,218

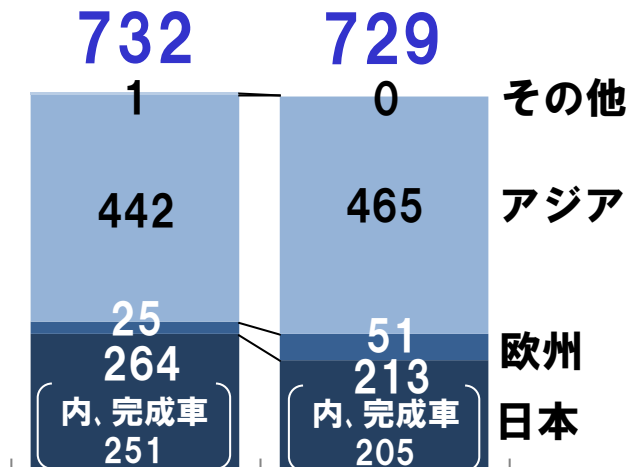


前年同期 '14/4-12 当第3四半期 '15/4-12

《内、10～12月比較》

▲3千台(▲0.4%)

(千台)

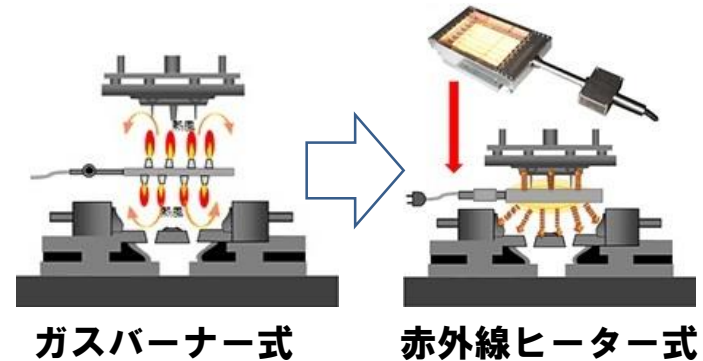


前年同期 '14/10-12 当第3四半期 '15/10-12

・相良工場が平成27年度の
省エネ大賞 [省エネ事例部門]
資源エネルギー庁長官賞
を受賞

- ・ 鑄造工場における赤外線ヒーター式金型加熱器の導入による省エネ・省力化
- ・ スズキ、中部電力株式会社、メトロ電気工業株式会社の3社が赤外線ヒーター式金型加熱器を共同開発
- ・ 大幅な加熱時間短縮と、エネルギー使用量削減を実現すると同時に、現場作業の省力化と安全性、生産性も向上させた取り組みが高く評価

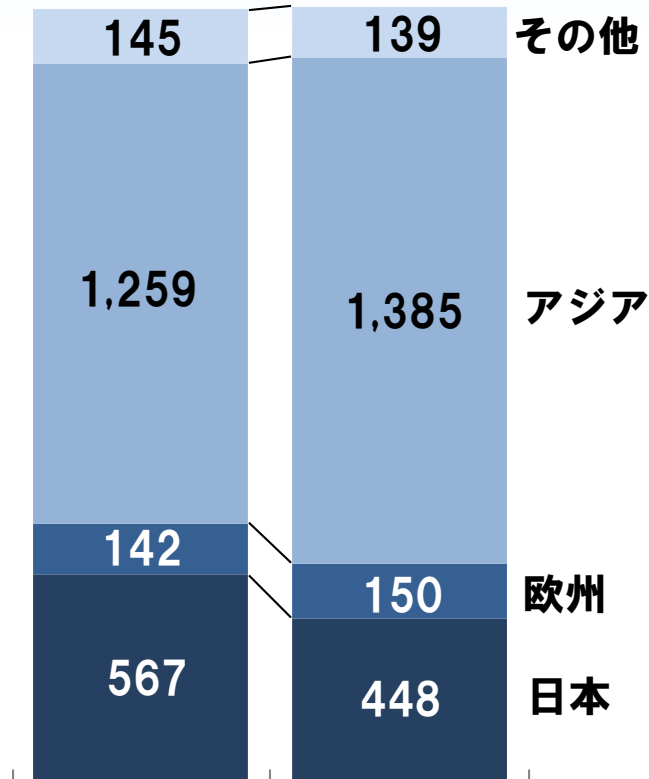
＜金型加熱器＞



《4～12月比較》

+8千台(+0.4%)

2,113 2,122

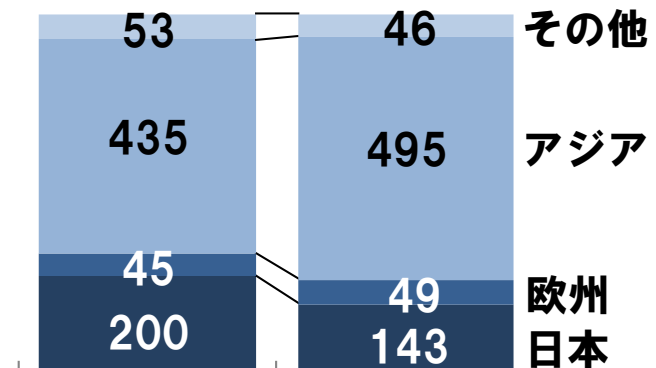


前年同期 '14/4-12 当第3四半期 '15/4-12

《内、10～12月比較》 (千台)

+0千台(+0.0%)

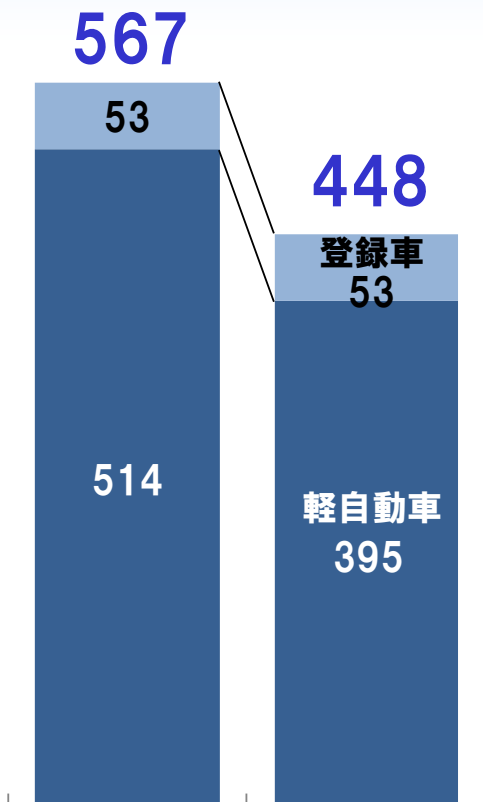
733 733



前年同期 '14/10-12 当第3四半期 '15/10-12

《4~12月比較》

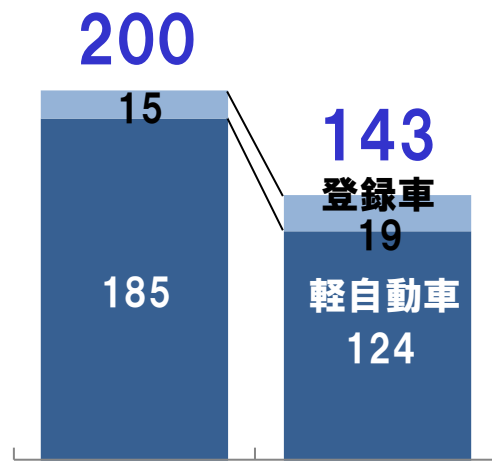
▲119千台(▲21.1%)



《内、10~12月比較》

▲57千台(▲28.4%)

(千台)



前年同期 '14/4-12
当第3四半期 '15/4-12

前年同期 '14/10-12
当第3四半期 '15/10-12

ハスラーJスタイルII

- ・12月7日「ハスラー」マイナーチェンジ、特別仕様車「J STYLE II」発売
- ・ターボ車にもS-エネチャージ搭載



新型アルト・ワークス

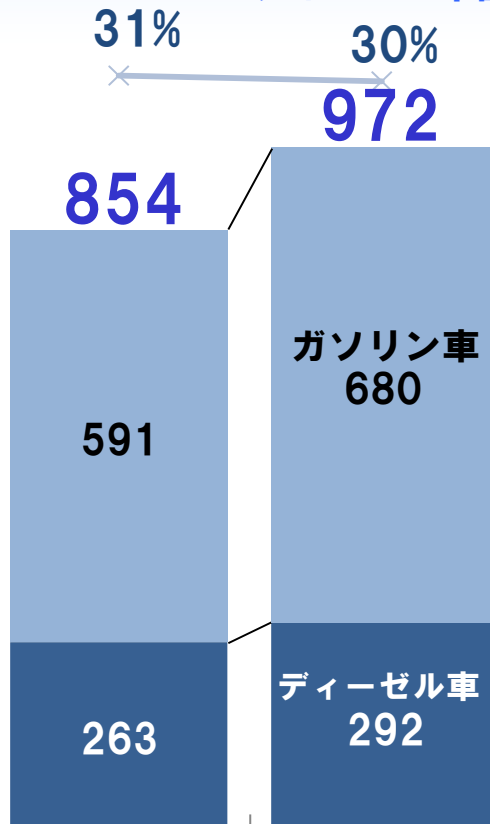
- ・12月24日発売
- ・「アルト ターボRS」ベースに専用チューニング
- ・走りを磨き上げた軽ホットハッチ
- ・5速MT、5速AGS設定*



*MT =マニュアルトランスミッション
AGS=オートギヤシフト

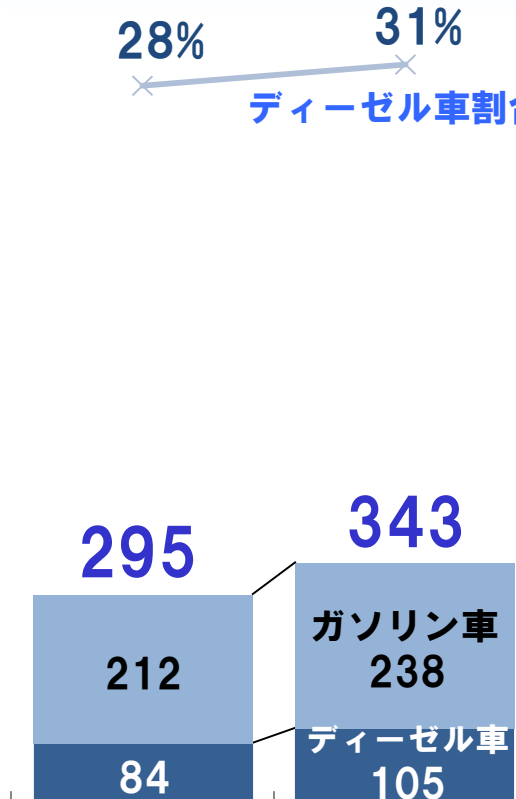
《4～12月比較》
+118千台(+13.9%)

ディーゼル車割合



《内、10～12月比較》
+48千台(+16.2%)
(千台)

ディーゼル車割合



・昨年12月、スズキ・モーター・グジャラート社の増資を実施

- ・増資額310億ルピー（約570億円）
〔グジャラートプロジェクトに関する少数株主投票は賛成多数により承認〕
- ・計画通り2017年中に稼働開始
- ・当初生産能力25万台/年
市場状況を見ながら増強

社名 : Suzuki Motor Gujarat Private Limited
 所在地 : グジャラート州アーメダバード市
 社長 : 相澤 直樹
 敷地面積 : 640エーカー（260万平方メートル）
 生産開始 : 2017年中
 生産能力 : 年間25万台
 投資額 : 約600億円

＜インド燃料価格推移＞ (ルピー/L)



注. 月末時点ニューデリー価格

前年同期
'14/4-12

当第3四半期
'15/4-12

前年同期
'14/10-12

当第3四半期
'15/10-12

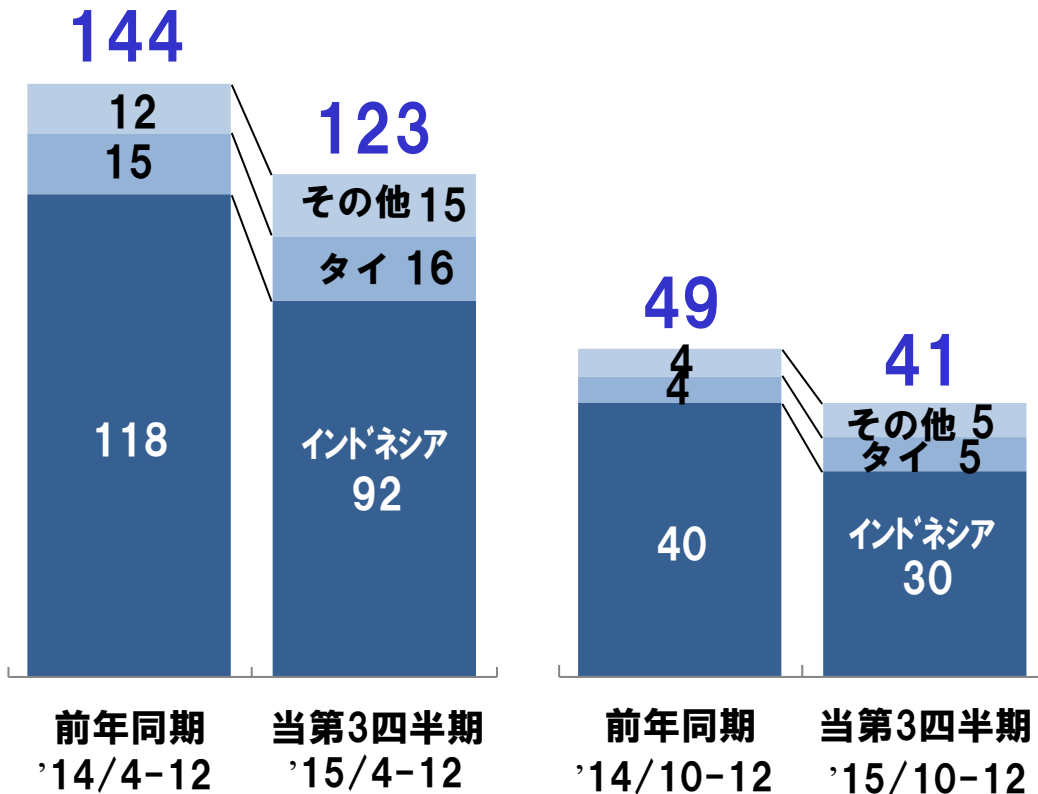
《4～12月比較》

▲21千台（▲14.8%）

《内、10～12月比較》

▲8千台（▲15.6%）

（千台）



New Ertiga Dreza (Indonesia)

- 1月7日、インドネシアでMPV*「エルティガ」に、高級モデル「ドレーザ」を追加



*MPV…Multi-Purpose Vehicle = 多目的車

・ 11月4日公表から変更（国内生産減産等を反映）

（千台）

	通期生産台数				前回予想からの修正
	予想 (15年度)	前期実績		増減率	
		(14年度)	増減		

	通期販売台数				前回予想からの修正
	予想 (15年度)	前期実績		増減率	
		(14年度)	増減		

<二輪車>

日本	126	154	▲28	▲18.1%	▲12
欧州	—	—	—	—	—
北米	5	5	▲0	▲4.2%	—
アジア	1,309	1,554	▲245	▲15.8%	▲80
その他	79	85	▲6	▲7.4%	+4
合計	1,519	1,799	▲280	▲15.5%	▲88

62	67	▲5	▲7.3%	▲2
50	45	+5	+11.4%	▲1
44	43	+1	+2.8%	+1
1,150	1,397	▲247	▲17.7%	▲88
206	212	▲6	▲2.9%	▲3
1,512	1,764	▲252	▲14.3%	▲93

<四輪車>

日本	859	1,055	▲196	▲18.6%	▲31
欧州	194	143	+51	+35.9%	+9
アジア	1,909	1,842	+67	+3.6%	▲21
その他	2	3	▲1	▲23.0%	—
合計	2,964	3,043	▲79	▲2.6%	▲43

620	756	▲136	▲18.0%	▲25
205	195	+10	+5.3%	—
1,833	1,721	+112	+6.5%	▲17
179	196	▲17	▲8.5%	+5
2,837	2,867	▲30	▲1.1%	▲37

2016年3月期 第3四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。